

楽しかった野外活動を通して

対象児：4歳児さくら組

作成日：2023年1月16日

作成者：大石京香

ねらい:体験したことを通して、絵を描くことを楽しむ。



振り返り

2学期に親子遠足に行ったり、芋ほりをして楽しかったという声がたくさん聞かれました。この体験から作品展の絵に繋がりました。学年の絵が「芋ほりの絵」、クラスの絵を「バルーンの絵」にしました。クラスの絵では大きく好きな形を書き、縦や横の線を書いて四角の中をクレパスで塗る姿もあれば、形の中に好きな折り紙を切ったり、ちぎったりして貼っていく姿もありました。「カラフルにしてみたよ!」「お友達たくさん書いてみたよ」「晴れていて風も吹いていたね」とクレパスで自由に絵を描く時もこんな会話をしながら絵描いていました。学年の絵では霧吹きを使って空と土の中を表現し、つるや葉、さつまいもを自分の絵の具で描きました。年中児になり色と色を混ぜ合わせると別の色が出来るということを経験する機会がなかったので、良い機会となり紫色をみんなで作ってみました。「赤色と青色で出来るよ」と知っている子もいました。知らない子は新しい発見になりました。それぞれが少し違う紫色のさつまいもになり、自分達が体験したことによって絵のイメージが広がったり、思い出しながら、作品を仕上げる事が出来ました。このような体験を通して活動に繋がっていけるような保育をこれからも考えながら、実践していきたいと思います。(協同性、社会生活との関わり、思考力の芽生え、数量・図形・文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)